【産業能率大学】連携事業実施状況（令和２年度）

（１）市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和3年3月末時点）	
1	伊勢原市第5次総合計画 後期基本計画 施策評価委員会	新規	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 柴田 明彦 教授	総合計画の進行管理において、内部評価の客観性及び妥当性を評価する。	期　日	①令和2年11月24日（火）、②12月22日（火）、③令和3年1月26日（火）、④2月24日（水）、⑤3月26日（金）
						場　所	①②⑤全員協議会室など ③④書面開催
						内　容	・第5次総合計画 後期基本計画 施策40本の評価 ・リーディングプロジェクトへの意見
						参加者数	10名
						成果及び課題	専門的知見から意見等をいただいた
2	平成大山講プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期　日	①令和2年10月16日（金）、②令和3年2月19日（金）
						場　所	書面開催
						内　容	事業実施状況報告等
						参加者数	①21名、②21名
						成果及び課題	専門的知見から意見等をいただいた。
3	伊勢原市日本遺産協議会委員	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部	文化庁より認定を受けた「日本遺産　大山詣り」の周知・啓発を進め、観光誘客及び地域振興を目指す。	期　日	令和3年3月24日（火）
						場　所	書面開催
						内　容	事業実施状況報告等
						参加者数	21名
						成果及び課題	専門的知見から意見等をいただいた。
4	伊勢原市社会福祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について、調査及び審議を行う。	期　日	①令和2年10月27日（火）、②11月24日（火）、③2月9日（火）～17日（水）
						場　所	①②市役所議会全員協議会室、③書面開催
						内　容	福祉関連計画に関する審議
						参加者数	①15人、②12人、③16人
						成果及び課題	専門的見地から福祉関連計画策定に係る審議をいただいた。
5	伊勢原市都市計画審議会	継続	都市部 都市政策課	経営学部 木村 剛 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期　日	令和2年10月2日（金）
						場　所	議会全員協議会室
						内　容	(1)伊勢原大山インターチェンジ周辺地区の市街化区域編入に係る関連都市計画の変更等について (2)伊勢原都市計画生産緑地地区の変更について (3)特定生産緑地の指定について (4)伊勢原市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例第15条第1項の許可について
						参加者数	11人
						成果及び課題	委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申をいただいた。

（２）市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和3年3月末時点）
	子育て支援センター事業	継続	子ども部 子育て支援課	情報マネジメント学部 荒木 淳子 教授	子育て中の母親が、地域と繋がる場作りとして、子育てワークショップを開催し、学生に地域貢献の環境を提供する。	期　日　新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場　所　－ 内　容　－ 参加者数　－ 成果及び課題　－
	子育て応援フェスタ	継続	子ども部 子育て支援課	情報マネジメント学部 荒木 淳子 教授	リーディングプロジェクト「未来につなげる子育て環境づくりプロジェクト」の取組の一環として、子育て応援フェスタを開催。学生の参加により、子育てワークショップのPRを図ると共に、親子と学生が触れ合う場を提供する。	期　日　新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場　所　－ 内　容　－ 参加者数　－ 成果及び課題　－
	伊勢原吹奏楽フェスティバル	継続	市民生活部 市民文化会館	産業能率大学吹奏楽部 SANNOウィンド・オーケストラ	芸術・文化の普及・振興	期　日　新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場　所　－ 内　容　－ 参加者数　－ 成果及び課題　－
	科学工作教室「プログラミング教室」	継続	教育部 図書館・子ども科学館	情報マネジメント学部 北川 博美 教授	パソコンを利用し、プログラミングを学ぶことで、機械の仕組みや物作りの楽しさを知る。	期　日　新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場　所　－ 内　容　－ 参加者数　－ 成果及び課題　－

（３）産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和3年3月末時点）	
1	シティプロモーション動画の作成	継続	広報戦略課	情報マネジメント学部 柴田 匡啓 教授 柴田ゼミ学生	学生の自由な視点と発想により、伊勢原の新たな魅力を引き出すプロモーション動画を制作・配信する。	期　日	令和2年6月18日（木）、7月2日（木）、以降適宜
						場　所	オンライン会議及び電子メール
						内　容	動画制作にかかる打ち合わせ
						参加者数	延べ人数　20人
						成果及び課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定どおり撮影が進められない状況があるが、令和3年3月末までに3本の動画の完成・配信を目指しています。
2	伊勢原市商業振興事業プランの推進	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	プランの推進主体である「商業のまちづくり協議会」と学生が連携し、プランの施策に取り組む。	期　日	通年
						場　所	伊勢原市商工会　会議室
						内　容	商業振興事業プランの施策の検討及び実施
						参加者数	18名
						成果及び課題	専門的見地から、商業のまちづくり協議会での取り組み事業について助言をいただいた。
	愛甲石田駅南口ロータリーふれあい祭	継続	都市部 都市政策課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	イベントの円滑な進行と地域住民とのふれあいの場を創出する。	期　日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場　所	－
						内　容	－
						参加者数	－
						成果及び課題	－
	伊勢原観光道灌まつりクリーンキャンペーン	継続	経済環境部 商工観光課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	伊勢原観光道灌まつりを通じて、健全な地域社会の発展及び人材の育成を目的として、協働活動による協力関係を推進する。	期　日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場　所	－
						内　容	－
						参加者数	－
						成果及び課題	－
	伊勢原観光道灌まつりへの出店	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 古賀 暁彦 教授 古賀ゼミ生	伊勢原観光道灌まつりへの参加を通じ、市と大学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期　日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場　所	－
						内　容	－
						参加者数	－
						成果及び課題	－

（4）市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和3年3月末時点）	
	災害時における施設使用等に関する協定書	継続	企画部 危機管理課	湘南管理課	災害時の施設使用に係る要請窓口及び担当者の確認	期　日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場　所	－
						内　容	－
						参加者数	－
						成果及び課題	－

（５）その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和3年3月末時点）	
1	ギネス世界記録のPR	新規	企画部 広報戦略課	湘南学生サービスセンター 瑞木祭実行委員会	第42回瑞木祭において達成したギネス世界記録について、広く市民等にPRする。	期　日	令和2年11月7日（土）、11月8日（日）
						場　所	市庁舎
						内　容	ギネス世界記録のPR
						参加者数	3名
						成果及び課題	第42回瑞木祭において達成したギネス世界記録について、市庁舎や広報等にて広く市民等にPRした。
2	第42回瑞木祭への動画提供	新規	企画部 広報戦略課	湘南学生サービスセンター 瑞木祭実行委員会	第42回瑞木祭のホームページから閲覧できる動画を提供する。	期　日	令和3年11月7日（土）、11月8日（日）
						場　所	オンライン開催
						内　容	第44回瑞木祭への動画の提供
						参加者数	3名
						成果及び課題	第44回瑞木祭のホームページから閲覧できる動画を提供した。
3	次期総合計画に係る市民ワークショップ	新規	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	次期総合計画策定に向けた、市内の現状や課題を把握し、策定に向けた指針を得るため、市民ワークショップを実施する。	期　日	①令和3年3月23日（火）、②3月25日（木）
						場　所	オンライン開催
						内　容	伊勢原の強み・弱みの把握 2030年を目途とした雑誌記事（案）の検討・発表
						参加者数	①14人、②14人
						成果及び課題	専門的見地から次期総合計画に係る市民ワークショップのファシリテーターとして助言をいただいた。
4	必修科目「情報マネジメント学部の学び方」における市長講演	継続	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 矢田木 綿子 准教授 情報マネジメント学部学生	学生が伊勢原市の魅力を理解し、伊勢原市で学生生活を送るうえでの自覚を持つよう、必修科目として市長講演を実施する。	期　日	令和2年6月3日（水）
						場　所	オンライン開催
						内　容	新入生に向けた市長メッセージ
						参加者数	24名
						成果及び課題	伊勢原市の現状や今後の展望について、理解を深めていただいた。
5	伊勢原駅周辺エリアマネジメント	継続	都市部 都市政策課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	伊勢原駅を中心とした個性と魅力ある地域まちづくりの推進に向けて、多様な主体が連携したエリアマネジメントを実施する。	期　日	通年
						場　所	特になし
						内　容	エリアマネジメントの実践に向けた研究
						参加者数	5名
						成果及び課題	地域住民主体のまちづくりに向けて、先進事例の研究や伊勢原駅周辺での進め方について、検討を重ねた。
6	放課後子ども教室	継続	子ども部 青少年課	情報マネジメント学部	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期　日	令和2年9月9日（水）～令和3年3月末日
						場　所	市内小学校体育館
						内　容	工作教室、自学自習など
						参加者数	各30～40名
						成果及び課題	新型コロナウイルス感染者を出さずに運営できた。 今後は、3密対策を講じた中での内容の充実が課題である。
	女性職員研修	継続	企画部 経営企画課 総務部 職員課	情報マネジメント学部 鬼木 和子 学部長 荒木 淳子 教授	女性職員が職業生活において能力を十分に発揮するために必要な知識等について近隣市町の職員とともに語り合うことで、様々な場での発信力を持ち、自らも取り組めるような人材を育成する。	期　日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場　所	－
						内　容	－
						参加者数	－
						成果及び課題	－

	就業体験学生（インターンシップ）実習事業	継続	総務部 職員課	インターンシップ事務局（湘南教務課）	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期　日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場　所	－
						内　容	－
						参加者数	－
						成果及び課題	－
	上平間台自治会支え合いサポーター	継続	保健福祉部 福祉総務課	情報マネジメント学部 LLL同好会	自治会の集会所を利用して、読み聞かせを実施する。	期　日	新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場　所	－
						内　容	－
						参加者数	－
						成果及び課題	－